



▲旧東海道



▲味覚祭りの様子



▲下の集落付近の清流の様子



▲集落の間を流れる清流

昔ながらの「屋号」の呼び方が残っているんだよ。

お袋の味に癒される絶品のとろろ汁。

自然と生き物が豊かな川で、初夏にはホタルが見られるんですよ。子供の頃は友達とよく川遊びをしていたなあ。

宇津ノ谷のまち並み

実は昔、鉄道関係の仕事をしたから宇津ノ谷の外を沢山見てたんだよ。東京から静岡までいろいろ降りてみたけど、やっぱり宇津ノ谷が一番安心するんだよ。気軽というか。自然もあって昔ながらのまち並みが残ってて、人も温かくて…。都会の人から見れば「なんにもない」って言われちゃうのかもしれないけど、何にもないからこそその空気があるんだ。

例えば、各家にある煙突。あれはお風呂をまだ薪で沸かしている家についててね。昔はどこの家でもそうだったなあ、懐かしい。

そして宇津ノ谷といえば『屋号』だね。これは本当に昔から各家にある呼び名で、今でもこれで呼び合ってるんだ。むしろ名前じゃ呼ばれずに屋号で呼ばれるよ。「おい！髪屋！！」ってね。こんな風に昔ながらの様子が少しずつ残っているんだよ。

味覚祭り

4月と11月に御羽織屋さんの隣の空き地で「味覚祭り」っていうお祭りをやるんだよ。峠を越えた先にある藤枝市と合同で開催するから、なかなか盛況でね。4月に行われる味覚祭りでは、たけのこが美味しいし、11月では生の山芋をすって販売するかな。そしてなんといっても「とろろ汁！！」とろろ汁はどうしても丸子宿が有名だけど、味も濃いし粘り気が強い宇津ノ谷のとろろ汁のほうがオススメだよ！

また、各家の畑からとれた野菜や、それらの材料を利用した奥様がたの料理は絶品。栗おこわや赤飯、椎茸ご飯など、100%手作りのお袋の味に癒されること間違い無し！このお祭りは誰でも参加できるので、ぜひ自由に参加してほしいなあ！



屋号：髪屋 森義泰さん

まち並みを流れる清流

思い出の場所といえば、宇津ノ谷地区に流れる川ですかね。すぐその、本当に家の間を流れる川です。ずっと昔からあって、小さい頃は川でよく遊びました。安倍川と下の方で繋がってるので、カジカとか鮎が季節になるとよく登って来ますよ。昔はウナギもいて、良く採っていました。ミミズを仕込んだ仕掛けを川に沈めておいて、次の日の朝にそっと覗きに行くと、たまーに掛かっているんです。それを親父のところに持って行ってさばいてもらって食べたものです。美味しかったなあ。つるんでた奴らとは場所の取り合いになりました。

今でもあの川は綺麗だから、十分川遊びが楽しめますよ。家の間に流れてるので人目もあるし、浅いから安全です。実はあそこ、初夏になるとホタルが飛び始めるんですよ。暑すぎちゃダメだから、見頃は6月ごろですかね。川の横は道路だから、ホタルを見ながら散歩できます。



屋号：志茂(しも) 鈴木祥元さん